



文部科学大臣認定「職業実践力育成プログラム（BP）」

やまがた地域ブランド構想 プロジェクト研究

～山形市ブランドの再発見と新たな価値創造～



山形市の新たなブランド創出

参加企業等募集

参加者が自組織の経営資源や自身の技術を活用して、
山形市の経済の活性化及び創造都市の推進に資する地域ブランドを再発見し、
魅力あるコンテンツとして新たな価値と新事業を構想し、
「持続的発展が可能な希望あるまちづくり」を目指す。

2023年6月開講 募集要項



学校法人 先端教育機構

事業構想大学院大学 事業構想研究所

やまがた地域ブランド構想プロジェクト研究



持続可能な経営のためには、新事業の創出やビジネスモデルの変革が不可欠となっています。気候変動やデジタル技術の革新など社会が大きく変容するなか、社会を見据え、多様化する顧客ニーズに合わせた新たな価値創造が求められます。

やまがた地域ブランド構想プロジェクト研究は、

- ・ 山形市の魅力を再発見し、新たな地域ブランドの構築につながるような自組織の新規事業及び新サービスを構想する場です。
- ・ 山形市の新たなブランド構築を意識し、事業の根本からアイデアを発想し、理想となる事業構想を構築します。
- ・ SDGsやDXなど最先端分野の有識者から得られる知見とともに社会変化を洞察し、新たな価値を創造します。
- ・ 異業種の企業やパートナーとの知の共有・探索や、コラボレーションによる事業創出活動を実現します。
- ・ 9か月間（2023年6月～2024年2月）の研究会を通じて気づける素養を磨き、価値創造を担う人材を育成します。



佐藤孝弘市長

山形市では、「山形市発展計画2025」で掲げる「持続的発展が可能なまちづくり」の実現に向けて、地域経済の活性化や創造都市の推進等の重点施策に取り組んでおります。

社会の変容が急速に進み、顧客ニーズが多様化しているなかには新たな価値創造が今後より一層求められてきます。

“まちづくりはひとづくり”と言われるように、自組織の経営資源や自身の技術を活用して、山形市の経済の活性化及び創造都市の推進に資する地域ブランドを再発見するとともに魅力あるコンテンツとして新たな価値と新事業の構想をとおして、事業構想大学院大学と連携して山形市の未来を創る人財を育みたいと考えております。

皆様のご応募をお待ちしております。

やまがた地域ブランド構想プロジェクト研究の概要と特徴

やまがた地域ブランド構想プロジェクト研究の全体概要

新事業の開発を行う9か月間の研究会

本研究会は、事業構想大学院の事業構想修士課程のカリキュラムのエッセンスを活かし、テーマに基づき、研究参加者の新たな事業構想と構想計画構築を行う9か月間の研究会です。

1人の担当教授と10人の研究員

研究会は、原則10人の研究員で構成されます。1人の担当教授が本研究期間を通してコーディネートとファシリテーションを行いながら、研究員の知見を高めながら推進していきます。

9か月間で20回開催

定例の研究会は、9か月間で20回開催。多彩なゲスト講師を招き、研究員の視野を広め視点を磨きながら、研究員各自の新事業創出を支援していきます。

「研究員」という資格を付与

プロジェクト参加者は、事業構想大学院大学附属の事業構想研究所 研究員の資格が付与され、大学院の知やネットワーク、施設を活用できます。研究員は非常勤（雇用関係なし）で、日常の仕事に就きながら、研究会に参加します。



本プロジェクトのカリキュラムとして、事業構想計画をアウトプットとした、発・着・想、構想案、シミュレーション、リサーチ、計画、投資側とのコミットメントなどをプロセスとして研究しながら、研究員（参画する企業）の計画する新事業の実現性をともに画策していきます。研究員である皆様と、事業構想ノウハウを持った教授陣・研究の第一人者をゲスト講師として招聘し、三位一体となってプロジェクトを1年間執り行います。



やまがた地域ブランド構想プロジェクト研究の概要と特徴

やまがた地域ブランド構想プロジェクト研究 4つの特徴

1：イノベーションを体系化した唯一のプログラム

新事業の開発を目的とした日本で唯一の大学、事業構想大学院大学の教授陣が、イノベーションに関する豊富な知識や方法を提供し、事業評価や計画を精緻に策定します。

2：経営資源を活かし、実践的な事業を構想

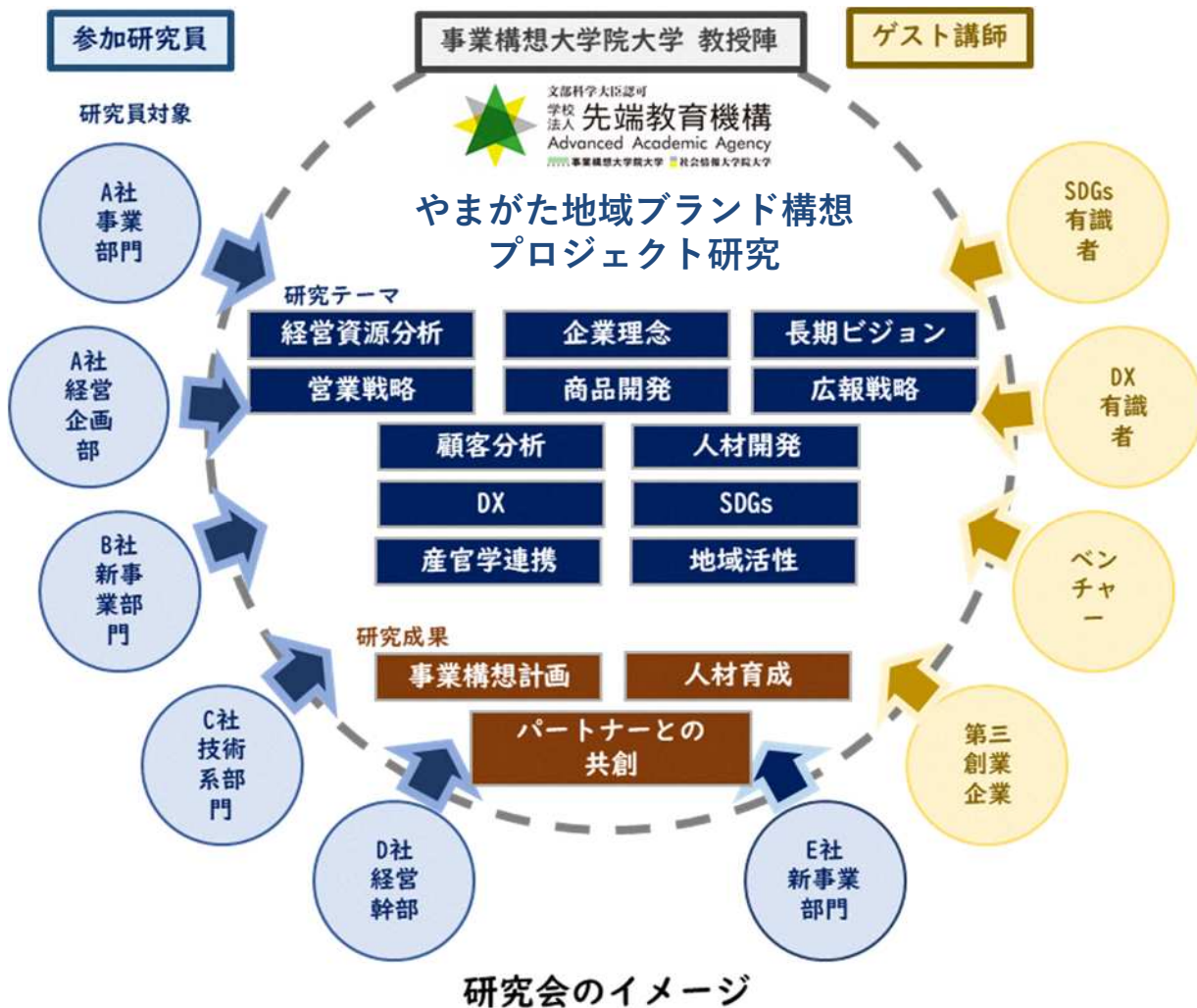
顧客開発など構想計画も、経営資源を活用した実現性が高く独自性の強いものを構築します。

3：最先端分野の有識者、第一人者とのネットワーク

本学がネットワークを有する、SDGsやDXなどの最先端分野における第一人者（官公庁・有識者・実践者・学者・起業家）から、ゲスト講師を招聘し、イノベーション支援を行います。

4：異業種との共創

研究会は異業種の研究員で構成されます。自社の業界領域を超えた、新たな価値創造を加速します。



やまがた地域ブランド構想プロジェクト研究の概要と特徴

最先端分野での幅広いネットワーク

事業構想大学院大学は出版部門を有しており、SDGsやDXなどの分野における最新事例・第一人者（官公庁・有識者・実践者）とのネットワークを構築しています。本プロジェクト研究において、各分野の本質を理解しながら、新たな事業の開発につなげることを目指します。



プロジェクト研究員の特徴

1. 担当教員や本学教員への個別相談
2. 事業構想大学院大学主催「事業構想スピーチ」への参加（年間約40回以上開催）
3. 図書館、サロンの利用
4. 電子書籍、オンラインデータベースの利活用
5. アーカイブ視聴
6. メディア利活用
7. 名刺、研究員証貸与

※このほか、本学が主催するセミナー・フォーラム・企画展などのイベントに参加できます。

サポート体制

●多彩な人的ネットワークの構築支援

専門家や自治体、官僚などをゲスト講師としてプロジェクト研究に招聘し、イノベーションに必要なインプットを行います。また、年間約40回、事業構想大学院大学院生を対象に行っている、多様な分野のスペシャリストをお招きして実施する事業構想スピーチへもご招待いたします。

さらに、事業構想大学院大学の教授陣による個別フィードバックや、研究員同士が議論を重ねる中で、外部の専門的な視点を取り入れながら、各社/各自の事業構想計画をブラッシュアップすることができます。

●フィールド・リサーチができる「研究員」としての資格を付与

社会課題をイノベーションを通じて解決する「研究員」としての資格を付与します。社会的に中立な研究員という立場として、ヒアリングやフィールドリサーチを行い、ネットワークを構築することができます。

●メディア・プロモーション支援

優れた成果は月刊事業構想をはじめメディア掲載し、プロモーションを支援します。

事業構想計画書

プロジェクト研究や大学院カリキュラムを活かした構成で、定例研究会を中心に個別指導を受けながら、各研究員が自社の事業構想計画を策定します。

事業構想計画書作成

- 各研究員が、1点以上策定する。
- 「山形市の地域ブランドを再発見し、新たな価値と新事業を構想」というテーマを踏まえて、自組織の計画書を作成する。
- 構想計画には下記の項目が入っていることを推奨する。

1. 基本構想

概要、社会的背景、自社の新たな知財、基本的な事業構造

2. プロダクト開発構想

コンセプト／市場性／価格戦略／製造・仕入れ構想／ブランド戦略／差異化／フィールドリサーチ（顧客インサイト分析）

3. 営業、販売構想計画

販売構想（チャンネル・販促）／普及・維持構想／フィールドリサーチ

4. 事業組織構想

組織・人事構想

5. 資金構想計画

概算資金計画

6. マーケティング・コミュニケーション戦略

プロモーション戦略／広告・広報戦略／コミュニケーション戦略

7. 想定される障害と対策

8. スケジュール

募集概要

プロジェクト期間

全20回、実施期間：2023年6月～2024年2月 各回半日程度（詳細は別ページ参照）

募集人数

8名程度

- ※募集人数を超えるお申込みがあった場合には、選考とさせていただきます。
- ※選考の結果は、参加可否問わず、5月下旬までにご連絡いたします。
- ※選考後の参加辞退はご遠慮くださいますよう、お願い申し上げます。
- ※募集人数のほか、山形市職員が2名程度参加し、10名の研究会となります。

会場

山形市内会場＋オンライン＋事業構想大学院大学 東京及び仙台校（詳細は別ページ参照）

対象

- ・自組織の経営資源や自身の技術を活用して、山形市の新たなブランド構築につながるような新事業・新サービスの創出を目指す、あらゆる業種・分野の企業・団体等

- ※業種や企業規模は問いません。個人事業主も可能です。
- ※研究期間を通して9割以上の日程に出席できる方が参加可能です。
- ※各社からの参加は、1名程度（役職不問）としてください。

研究員として参加いただきたい方のイメージ

- ・山形市をよりよくしたいという熱い想いを持っている方
- ・人脈や技術など、自社の経営資源を再定義し新事業を策定したい方
- ・社会を洞察しながら、時代に即した新しい事業を立ち上げたい方
- ・参加者やゲスト講師、自社のステークホルダー等と、共創事業を立ち上げたい方
- ・地域ブランドの構築に興味・関心をお持ちの方 など

申し込み期限

締め切り：2023年5月22日（月） 申込書類必着

申し込み書類

申込書、個人調書、研究志望書

※研究申込書については、個人調書、研究志望書のご提出後、別途送付をさせていただきます。

申し込み方法

申し込み書類一式を、以下担当宛に電子メールにて提出

【送付先】学校法人先端教育機構 事業構想大学院大学 仙台

「やまがた地域ブランド構想プロジェクト研究」担当宛

メールアドレス：sendai@mpd.ac.jp

研究参加費 無料

共催

山形市・学校法人先端教育機構 事業構想大学院大学 事業構想研究所

担当教員



青山 忠靖
(あおやま ただやす)

事業構想大学院大学 特任教授

地域デザインによる地域創成事業支援を専門とする。

1978年3月 大学卒業後、同年4月 株式会社博報堂に入社し17年間勤務。1995年に博報堂の協働機関を起業、広告制作、PR制作、雑誌編集/執筆等に携わる。2006年以降、外資・国内コンサルティング企業を経て、2016年より現職。2012年には一般社団法人地域デザイン学会の立ち上げに参画する。LEC東京リーガルマインド大学 キャリア開発学部 非常勤講師「メディア社会論」(2004年～2007年) 専修大学商学部 地域デザイン学会寄附講座「地域と食文化」を担当(2016年) 2006年3月 多摩大学大学院 経営情報学研究科 博士課程前期修了、MBA(修士・経営情報学)

農林水産省「ランナーズ・ヴィレッジプロジェクト」(2017年)

環境省「高梁川流域学校プロジェクト」(2017年)

内閣府「クールジャパン地域人材育成プロジェクト」(2018年)

資源エネルギー庁「エネルギー構造高度化人材育成プロジェクト」(2019年)

文化庁「文化芸術収益力強化事業<サバイブのおすびめ>プロジェクト」(2020年)

愛知県「三河山間地域の農山村の起業家育成プロジェクト」(2021年)等のプロジェクトに携わる。

著書

『スロースタイル』(共著 新評論 2007)

『地域デザイン戦略総論』(共著 芙蓉書房 2013)

『食文化のスタイルデザイン』(共編著 大学教育出版 2015)

『実務家教員の理論と実践』(共著 社会情報大学院大学出版部 2021)

やまがた創生プロジェクト研究 カリキュラム

日程：2023年6月～2024年2月

講師：青山 忠靖

会場：下記参照（山形市内会場の詳細は、参加確定後にご案内いたします）

カリキュラム案：第1回～10回（**グリーン**のテーマはフィールドワークとなります）

回	日程	テーマ	目標	研究内容
01	06/06（火） 13:00～17:00	ガイダンス	地域ブランドを理解する	大月市の「地域ブランドプラットフォーム戦略」の事例を参考に、デジタル発信によるブランド広報、観光コンテンツブランド、食の商品開発プラットフォーム等の地域ブランド戦略の本質を理解する。
02	06/20（火） 13:00～17:00	やまがたブランドの理解	山形ブランドを理解する	山形市が進める地域ブランド戦略等々の事例紹介。地域ブランド構築の必要性などをモリサワ様より説明を頂き、受講生の理解促進を図る。
03	07/04（火） 13:00～17:00	ZTCAデザインとコンテックスデザイン	ZTCA手法によるブランド構築	地域デザイン手法であるZTCAデザインを学習する。メンタルマップを基にゾーンデザイン（界限創出）をグループで検討していく。これはブランド開発手法でもある。またゾーン（界限）の中心となるトポス（場所）のデザインも演習する。
04	07/18（火） 13:00～17:00	地域力とベンチャービジネス	地域資源を最大化して自治体と民間による共創で起こす地域イノベーションについて理解を深める	「株式会社飛騨の森でクマは踊る」や、「面白法人カヤック」などの地域自治体との共創によって新しいビジネスを生む手法について学習していく。青山講師の農業生産物産物を応用したビジネスも紹介。後半はグループ演習でアイデア出しを行っていく。
05	08/01（火） 13:00～17:00	新しい観光事業	先進地域で展開され急成長を遂げているミニガイドビジネスを理解する	「まいまい京都」「まいまい東京」「大ナゴヤツアーズ」といったミニガイドビジネスは売上が数億円規模までに成長している。こうした事業のコンテンツやビジネスモデルを研究しながら、山形での展開を演習で検討していく。
06	08/29（火） 13:00～17:00	次世代に向けた教育事業 (株)まなぶや 今吉邦夫氏	行政と連携する次世代型教育事業に関する理解と応用	(株)まなぶや 代表の今吉邦夫氏をゲスト講師としてお招きして、地域企業、行政、地域中高生の連携による起業体験型人材育成プログラムについて学習していく。後半は山形市にて展開をするための演習を実施する。
07	09/12（火） 13:00～17:00	マーケティングについて (MPD東京校 中島好美先生)	マーケティングの基礎知識を学習してターゲット像の概念を理解する	ターゲットセグメンテーション、顧客創造、市場分析、プロモーション等の基礎知識を習得していく。
08	09/19（火） 13:00～17:00	クリエイティブ発想法 (MPD東京校 渡邊信彦先生)	誰でもできる創造的な発想法について実践的に学習する	既存事業内容やメンタルモデルに囚われないアイデアを誘発させるための発想法を学習した上で、グループ演習を行っていく。
09	09/20（水） 13:00～17:00	フィールドワーク（東京） 下北沢ポーナストラック見学	下北沢ポーナストラックの現地見学と運営するOMUSUBI不動産による新ビジネスの学習	個人商店のみで形成される下北沢ポーナストラックを見学し、現地でOMUSUBI不動産日比野亮二氏より、シェアキッチンビジネス等を学ぶ。まちづくり手法、シェアキッチン、書店等の生業の創出を体感していく。
10	10/03（火） 13:00～17:00	アクターズネットワーク事業 (TATAKIAGE Japan 小野寺孝晃代表)	アクターズネットワーク事業の理解	事業構想大学院大学の特任教授でもあり、福島県いわき市にてTATAKIAGE Japanの事業を展開している小野寺教授より、地域人材資源を最大化させ、新事業を創出させるアクターズネットワーク事業についての講義及び演習を行う。

カリキュラム案：第11回～20回（**ブルー**のテーマはプレゼンテーションとなります）

回	日程	テーマ	目的	研究内容
11	10/17（火） 13:00～17:00	アクターズネットワーク事業創出 (TATAKIAGE Japan 小野寺孝晃代表)	アクターズネットワーク事業構想演習	アクターズネットワークを実装させるための演習。アクターズネットワークの一つの領域として次世代（中高生）向けの起業体験型人材育成プログラムについても構想していく。
12	10/31（火） 13:00～17:00	界限の創出 (TATAKIAGE Japan 小野寺孝晃代表) (渋谷新聞代表 鏡吾吾氏)	山形市内に新しいゾーンをデザインする 別の構想となる可能性もあり	新しい「界限」を実際にゾーンデザインする演習。ネーミングや「まちのロゴ」、イベント、拠点デザイン等を実際に考えていく。コワーキングスペースのデザインも含めて渋谷いわき市で事業を展開する、小野寺氏や鏡氏も参加する。
13	11/14（火） 13:00～17:00	ローカルメディア演習 (渋谷新聞代表 鏡吾吾氏) (TATAKIAGE Japan 小野寺孝晃代表)	ローカルメディアのコンテンツデザインの演習 別の構想となる可能性もあり	ローカルメディアのコンテンツと観光事業（ミニガイド事業）のコンテンツを実際にプランニングしていく演習を行う。同時にビジネスモデルも設計していく。
14	11/28（火） 13:00～17:00	食事業の構想と演習	特産品を使用した新しい切り口の食事業を構想する	地域資源を最大化させ、地域の特産物を創出させていく事業演習を行っていく。
15	12/12（火） 13:00～17:00	中間発表への準備	中間発表に向けた準備を行う	研究員それぞれがこれまでの演習等で発想した事業構想について、中間発表に向けた準備を行う。事業構想計画書の作成を進める。
16	12/26（火） 13:00～17:00	中間発表会	各項目の事業構想計画を発表して第三者の評価を受ける	中間発表会
17	01/09（火） 13:00～17:00	最終発表に向けた準備1	フィールドワーク等	フィールドワーク等の準備、事業構想計画書の作成
18	01/23（火） 13:00～17:00	収益構造・広報計画	収益モデルのチェック 広報計画のチェック	価値創出、コストの明確化・コスト管理、収益構造の明確な構造化など、ややもすると曖昧になりやすい部分にフォーカスした演習。広報用のプレスリリースの作成等の準備
19	02/06（火） 13:00～17:00	個別指導	最終発表に向けたチェック プレゼン手法等	個別指導によって構想の精度を高める。
20	02/20（火） 11:00～18:00	最終発表会		最終発表会

適時にフィールドワークを実施してもらう

※ 上記は予定であり、内容やスケジュールは変更になる場合があります。
 ※ 研究員の事業構想計画の内容や進捗によっても、担当教員等の判断により講義内容を変更する場合があります。
 ※ 上記日程に関わらず、担当教員による個別指導を受けることが可能です。

事業構想スピーチ（任意参加）

- 毎週、水曜日の19時から21時に2時間のスピーチを実施(年間約40回)
- 各界を代表するキーパーソンから、最先端ビジネスモデル・社会モデルを学び「発・着・想」を得て、事業構想構築に活かします。

革新経営者

創業経営者

新規事業責任者

ネットビジネス
リーダー

都市計画・建築家

最先端分野研究者

最先端企業経営者

地域活性 実践者

社会起業家

クリエイター

哲学者

ブランド
マネージャー

過去の登壇例



藤田 晋

サイバーエージェント
代表取締役社長



おち まさと

プロデューサー



増田 宗昭

カルチャー・コンビニエンス
・クラブ
代表取締役社長



角 和夫

阪急阪神ホールディングス
代表取締役会長



コシノ ジュンコ

ファッションデザイナー



笹本 裕

Twitter Japan
代表取締役



谷田 千里

タニタ
代表取締役社長



出雲 充

ユーグレナ
代表取締役社長



長谷部 健

渋谷区長



渡部 一文

アマゾンジャパン
バイスプレジデント

事業構想大学院大学事業構想研究所の研究員

下記の通り、事業構想大学院大学事業構想研究所のプロジェクト研究員の立場が付与されます。

◎研究員証



◎名刺



◎個別相談



◎事業構想スピーチ（年40回開催）



◎研究修了証



◎オンラインデータベース・アーカイブの活用



◎大学院環境（図書館・サロン）の活用



- 履歴書に研究員の経歴が記載可能。また、プロジェクト終了後には、研究報告書作成など規定要件を満たせば研究修了証を授与。
- 名刺、身分証の発行・貸与。
- 大学院主催年約40回の「事業構想スピーチ」への参加。
- 図書室やサロンなどの施設の活用。
- オンラインデータベースの利用。
- アーカイブ視聴。
- 希望により学会発表、メディア掲載申請が可能。
- 担当教授に随時相談可能

個人情報の取り扱いについて

本学が申込書類を通じて取得する個人情報は、①研究員選考、②合格者発表、③参加手続き、④本学からのお知らせ、⑤これらに付随する業務を行う目的のみに、事務局および担当教員が利用いたします。

問い合わせ先

申込やカリキュラムに関すること

学校法人先端教育機構

事業構想大学院大学 仙台

担当：木村・大泉

〒983-8477 宮城県仙台市宮城野区榴岡1-1-1

JR仙台イーストゲートビル7階

TEL: 022-257-8411 FAX: 022-257-8418

E-mail: sendai@mpd.ac.jp

プロジェクト研究事業に関すること

山形市商工観光部産業政策課

担当：澤田・安孫子

〒990-8540 山形市旅籠町2-3-25

TEL: 023-641-1212(内線418) FAX: 023-616-3535

E-mail: sangyou@city.yamagata-yamagata.lg.jp



山形市



学校法人 先端教育機構

事業構想大学院大学 事業構想研究所